

# 「地域密着型金融」の取組み状況

---

(平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月)



## 目 次

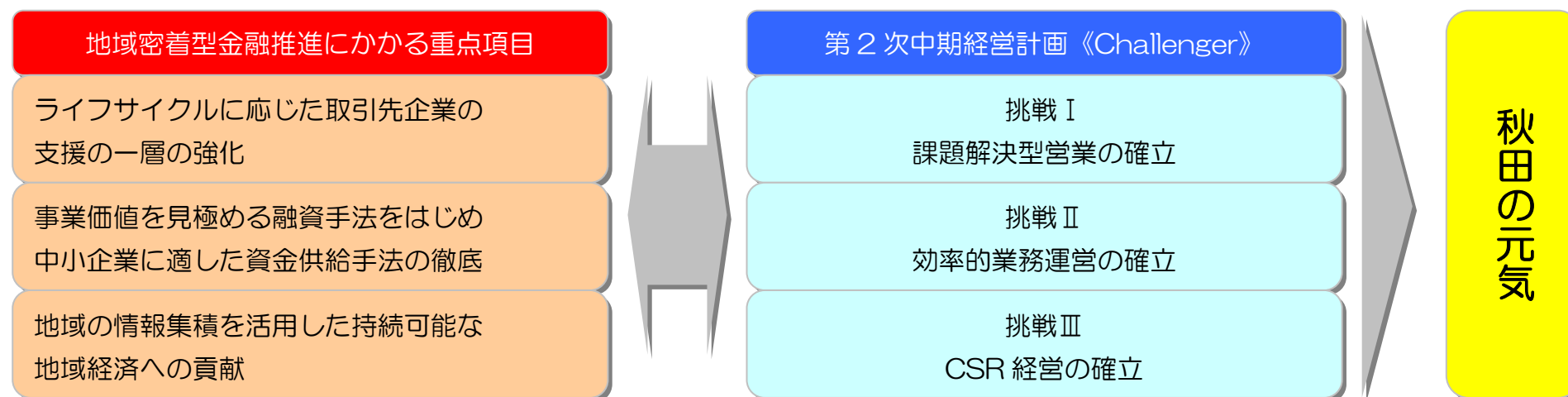
- 地域密着型金融の推進に関わる基本方針について . . . 1 ページ
- 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化 . . . 2~3 ページ
- 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底 . . . 4~5 ページ
- 3. 地域の集積情報を活用した持続可能な地域経済への貢献 . . . 6~8 ページ
- 地域密着型金融の取組み実績 . . . 9 ページ

当行は、平成 19 年 11 月に『地域密着型金融の推進に関わる基本方針』を策定しております。

### 地域密着型金融の推進に関わる基本方針について

- ・ 課題解決型営業の浸透、定着を図り、県内企業の持続的な発展に貢献します。
- ・ お客さまとのリレーションを最大限に活用し、円滑な中小企業金融の提供に努めます。
- ・ 県内企業の発展に積極的に貢献し、“秋田の元気”の発信に全力で取り組みます。

当行がスタートさせた第 2 次中期経営計画《Challenger》（平成 19～21 年度）では、『すべては地域のために～“秋田の元気”を北都から～』をコンセプトに、挑戦Ⅰ「課題解決型営業の確立」、挑戦Ⅱ「効率的業務運営の確立」、挑戦Ⅲ「CSR 経営の確立」を基本戦略として掲げております。その各種施策には地域密着型金融の推進に関する事項が多く含まれており、“秋田の元気”の創出を目指す基本方針のベクトルと共通しております。



以下、3つの重点項目について具体的な取り組み状況をご報告いたします。

## 重点項目の取組み状況（平成 19 年 4 月～平成 20 年 3 月）

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

#### ◆ 創業・新事業支援

##### ➤ 企業育成ファンドの組成・出資

秋田県内における創業・新事業支援、株式公開を目指すベンチャー企業などの発掘・育成・経営に関するサポート機能の拡充を目的に「北都チャレンジファンド」をご用意しております。19 年度は、エリアサポートチーム（AST）<sup>（注）</sup>を中心とした取組みにより、1 社の投資（20 年度中実施）が決定しております。本ファンドはこれまで、ベンチャー企業 3 社へ 53 百万円の投資を実施しております。

今後も AST を中心に新しいビジネスの創出を応援する活動を展開、ベンチャー企業や直接金融のニーズがあるお取引企業に対して出資を行い、資本の充実をサポートし、企業の将来的な成長を資金面から支援いたします。

なお、19 年度の当行の創業・新事業支援融資の実績は、取扱件数 69 件、取扱金額 9 億円となりました。

##### ➤ 政府系金融機関、商工団体、大学等との連携強化と新事業・技術開発に関する情報や提携商品の提供

地域経済活性化と地域社会発展への貢献を目的として、国立大学法人秋田大学、公立大学法人秋田県立大学と連携協力協定を締結しております。

19 年度は、「地球温暖化防止」と「資源循環型社会」形成事業を積極支援するため、公立大学法人秋田県立大学の現場直結型研究である「菜の花循環利用研究プロジェクト」に対し、連携協力の第一弾として研究事業費を助成いたしました。寄付金は、「周知・教育・啓蒙活動」や「県有地（秋田湾産業新拠点）での菜の花栽培研究事業への支援」および「菜種油の商品開発」等に活用されております。

今後も、北都銀行の店舗ネットワークとお取引先との接点を最大限に活用し、大学の保有する研究成果とお取引企業のニーズとのマッチング活動を展開してまいります。

## ◆ 経営改善支援

### ➤ 経営改善計画策定支援による事業支援活動

経営課題や悩みを抱えているお取引先の課題解決をサポートするため、「経営改善計画書」の策定をバックアップしております。19年度中の取組み実績は67先（計画60先）となっております。

また、「経営改善計画書」の策定をサポートしたお取引先のうち24先の債務者区分がランクアップしております。

## ◆ 事業再生支援

### ➤ 中小企業再生支援協議会、M&Aを活用する等事業再生支援活動への取組み

本部審査部内に「経営支援グループ」を組成し企業再生支援に軸足を置いた活動を強化しております。19年8月からは担当者を、「建設業」「ホテル旅館業」「製造業」等の業種別とすることで、スペシャリストの養成にも力を入れております。

事業再生支援活動の主な手法としては、秋田県中小企業再生支援協議会やM&Aおよび地域企業再生ファンド（地域中小企業の再生を図ることを目的に、株式会社みずほコーポレート銀行、株式会社船井財産コンサルタンツとの業務協力により創設）等を活用しております。

なお、19年度の秋田県中小企業再生支援協議会との連携による再生支援取組み実績は2先となっております。

また、19年度のM&Aを用いた再生支援取組み実績は2先となっております。

今後も、過剰債務を抱えているものの、技術力があり地域の雇用を支えている企業の再生支援や、秋田県全体を視野に入れながら、地域と一体となった支援活動に積極的に取組んでまいります。

### （注）エリアサポートチーム（AST）

「課題解決型営業」推進のため、本部の専門部署で実務経験を積んだ行員を「エリアサポートチーム（AST）」として県内主要店舗に配置しているほか、経営に課題や悩みを抱えられているお取引先へのアドバイスや経営改善計画書の策定をバックアップするため、「経営改善AST」を本部審査部内に設置しております。「本業サポート」「経営サポート」「資産コンサルティング」の分野において担当地域をカバーし、専門家や本部専門部署と連携を図りながら、地域の皆さまへ付加価値の高い総合金融サービスを提案できる態勢を整備しております。

## 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

### ◆ 不動産担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

#### ➤ 財務制限特約条項を活用した融資の拡充

地場優良企業の「安定した長期資金調達ニーズ」に対応するため、財務制限特約条項を活用した、原則無担保・無保証、固定金利の事業者ローン「絆」をご用意しております。19年度は、お取引企業35社へ12億円のご融資を実施しております。

#### ➤ 事業用動産を担保とした融資への取組み

19年度の動産・債権譲渡担保融資の実績は、取扱件数39件、取扱金額1億円となりました。

事業用動産（「機械設備」「トラック等事業用車両」）の有効活用により、不動産担保や保証人に過度に依存しない新たな資金調達の機会を提供するため、興銀リース株式会社およびオリックス自動車株式会社と提携し、『ほくと「動産担保」ローン』の取扱いを平成20年3月に開始いたしました。

#### ➤ CRDスコアリングモデルを活用した融資の拡充

CRDスコアリングモデルを活用した、秋田県信用保証協会提携事業者ローン「速・戦力！」の19年度中の実績は、取扱件数144件、取扱額13億円となりました。

平成19年10月の「責任共有制度」の開始に対応し、「真・戦力！」の取扱いを開始いたしました。「真・戦力！」の実績は、取扱件数153件、取扱額18億円となりました。

19年度のCRDスコアリングモデルを活用した融資商品の取扱実績は、合わせて297件・32億円となりました。

今後も、定性情報を含めた地域での情報を最大限に活用し、お取引先企業の事業価値を見極め、不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資を推進してまいります。

## ◆ 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

### ➤ 中小企業診断士の育成

中小企業診断士を育成するため、中小企業大学校に行員を派遣しております。平成 19 年 9 月には 1 名が中小企業診断士資格を取得いたしました。平成 20 年 3 月時点での、当行の中小企業診断士資格取得者数は 9 名となっております。また、平成 20 年 9 月には更に 1 名が資格を取得する予定となっております。

### ➤ 行外研修への行員派遣、行内研修の充実

19 年度は、全国地方銀行協会主催の「企業再生実務講座」へ行員 2 名を派遣いたしました。

また、目利き・経営支援の内容を組入れた行内研修、「法人営業推進基礎研修会」、「課題解決型営業実践研修会」を開催し、「課題解決型営業」推進に向けた人材育成に注力いたしました。

今後も「目利き能力」に長けたスペシャリストを養成し、多様化する企業ニーズに対する対応力を高めてまいります。

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

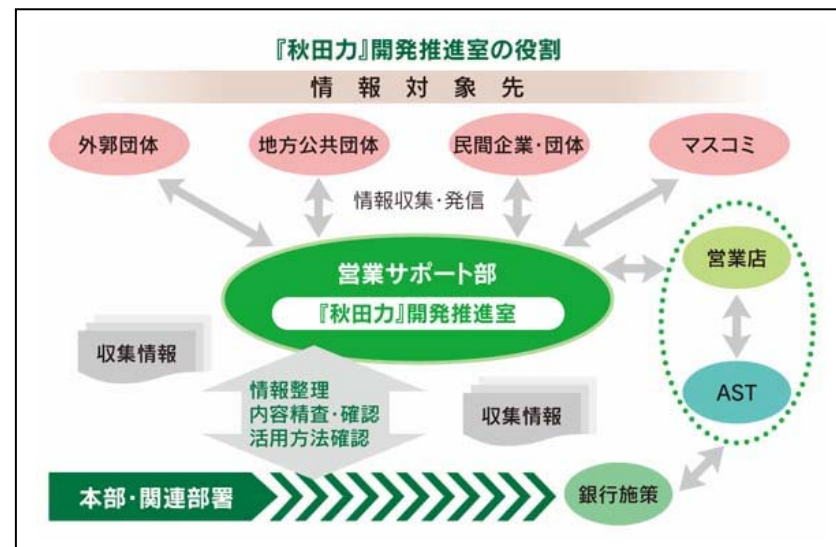
◆ 地域再生の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

➤ 「秋田力」開発推進室の新設

19年8月に、“秋田の元気”についての施策を、スピード感をもって推進する専門チームとして、本部営業サポート部内に『「秋田力」開発推進室』を新設いたしました。

- ①秋田県を元気にする活動の発掘と情報収集および情報発信
- ②地場資源の発掘と事業化に向けたサポート
- ③秋田県の産業集積に向けた取組みのサポート
- ④地場産業の育成と県外および海外進出のサポート

の4つの活動を中心に、秋田県の活性化のために取組んでまいります。



19年12月には、秋田県・農林漁業金融公庫と共催し、秋田県の基幹産業である農業への支援、アグリビジネスの育成と地域経済の活性化を図ることを目的に、「アグリビジネスフェア」を開催いたしました。北都ビジネスクラブ会員、農業関係者など定員を超える約170名の方が来場され、実施したセミナー（「売れる物づくりへのヒント・ポイント」有限責任中間法人ディレクトフォース 藤田公一氏、「首都圏バイヤーが地方の食材に求めるもの」(株)伊勢丹 MD 統括部 食品営業部元階催事バイヤー村山慎一氏、「地ブランド戦略のキソとキモ」(株)博報堂 MD 戦略推進局ブランディング・プロデューサー木下富美子氏）に多くの関

『アグリビジネスフェア』



心が集まりました。

また、フェア当日は専門家、各企業支援機関によるコンサルティング・相談会を実施いたしました。多くの企業が自社の商品・企画などに評価・アドバイスを受け、課題解決やビジネスモデルの構築につなげる機会となりました。相談実績は53件で、相談の中には、現在まで継続してアドバイスを受けている案件もあり、今後の成果が期待されております。

#### ➤ NPO 法人の資金調達支援

秋田県経済の活性化や雇用創出が期待されるコミュニティビジネスを行うNPO法人（民間非営利法人）の資金調達をバックアップするため、19年7月に、「ほくとNPO 応援ファンド」の取扱いを開始いたしました。19年度の実績は、取扱件数2件、取扱額6百万円となりました。

### ◆ 地域活性化につながる多様なサービスの提供

#### ➤ 商談会の開催

県内企業の異業種交流とビジネスチャンス創出を目的に、毎年開催している「ビジネス商談会」は「ビジネスマッチングフェア」として定着し、大きな注目を集めております。

平成19年7月開催の「第9回ビジネス商談会」では、出展企業68社・9団体、県内外から約2,500名の方が参加され、32件の商談が成立いたしました。

#### ➤ ビジネスマッチング活動の充実

19年度は、全行をあげてビジネスマッチングに取り組んだ結果、マッチング件数892件と、自主目標500件を上回る実績となりました。

今後も、当行のネットワークを活用し、様々な角度からお取引先を支援いたします。

『北都ビジネスフォーラム』



➤ **インターンシップ、職場訪問受け入れ**

就職を控えた学生の方のインターンシップを、19年度は34名（秋田県経営者協会主催：2名、秋田県主催：8名、秋田県商工会議所主催24名）受け入れいたしました。また、19年8月、小学生を対象とした職場訪問を当行本店にて開催、38名（親子）の皆様に参加いただいております。

これらの取組みは当行CSR活動の一環でもあります。

➤ **マナー研修、新入社員合同研修会の開催**

当行では平成7年から、指導員の不足や新入社員が少ないなどの理由でマナー研修の実施が難しいお取引先に参加を呼びかけ、新入社員を対象としたビジネスマナー研修会を開催しております。平成19年4月に開催した研修会には、県内19社から39名の方にご参加いただきました。

上記研修会のほか、県内企業等の従業員を対象とした接客マナー研修に際し随時、講師を派遣しております。19年度の派遣回数は79回、総受講者数は2,310名となりました。

➤ **個人ローン返済相談窓口の充実**

経済環境の変化等から、家計と返済計画にアンバランスが生じ、今後のご返済に不安を抱えていらっしゃるお取引先をサポートするため、本店別館の個人ローンセンター内に、「個人ローン返済相談窓口」を設置、専門の担当者を配置し、ご返済の正常化や多重債務の防止などに努めてまいりました。19年9月の窓口設置以降の返済相談件数は56件となっております。

返済相談窓口では、電話での相談も受付しており、住宅ローンなどローンをご利用中のお取引先の返済に関する問題解決に取り組んでおります。

## 地域密着型金融の取組み実績

「地域密着型金融」の取組みにおける19年度の実績は、以下のようになりました。

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

創業・新事業支援融資実績	平成19年度中	69	件
		986	百万円

経営改善計画書策定先数	平成19年度中	67	先
-------------	---------	----	---

中小企業再生支援協議会の活用による事業再生支援活動			
平成19年度中	再生計画策定先数	2	件
	金額	1,319	百万円
<small>(注1) 再生計画策定先数は、18年度以前に持込んだものも含め、19年度中に再生計画を策定した先数のみを記入しております。 そのため、期初時点における策定先数は除いております。</small>			
<small>(注2) 金額は、支援決定時の当該先に対する債権残高(簿価)ベースです。</small>			

M&Aを用いた事業再生支援	平成19年度中	2	先
<small>(注) 支援先のうち、M&amp;Aを用いた支援実績を記入しております。</small>			

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

財務制限条項を活用した商品による融資実績	平成19年度中	35	件
		1,247	百万円

動産・債権譲渡担保融資			
動産・債権譲渡担保融資の実績	平成19年度中	39	件
		115	百万円
<small>(注1) 「動産・債権譲渡担保融資」は、リース債権およびクレジット債権を担保とした融資を除いております。 (注2) 残高は、銀行と顧客との間の直接の貸出契約ベース(SPC、信託経由を含みません)です。 (注3) 動産・債権について、担保権設定契約を締結しているもののみを対象としておりますが、登記を必須としているものではございません。</small>			
うち売掛債権担保融資	平成19年度中	10	件
		28	百万円
うち動産担保融資	平成19年度中	29	件
		87	百万円

スコアリングモデルを活用した商品による融資実績		
平成19年度中	297	件
	3,231	百万円

シンジケートローンの組成実績		
平成19年度中	0	件
	0	百万円

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

ビジネスマッチングの成約件数	平成19年度中	892	件
----------------	---------	-----	---

接遇マナー研修(講師派遣)受講者総数	平成19年度中	2,310	名
--------------------	---------	-------	---

個人ローンご返済相談受付件数	平成19年度中	56	件
----------------	---------	----	---

### ■経営改善および事業再生支援の取組み実績

【19年4月～20年3月】

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先数 α	αのうち期末 に債務者区分 がランクアップ した先数 β	αのうち期末 に債務者区分 が変化しな かった先 γ	αのうち再生 計画を策定し た先数 δ	経営改善支援 取組み率 = α/A	ランクアップ 率 = β/α	再生計画策定 率 = δ/α	
正常先①	7,895	42		32	0	0.5%		0.0%	
要 注 意 先	うちその他要注意先②	689	95	10	73	5	13.8%	10.5%	5.3%
	うち要管理先③	142	55	5	44	1	38.7%	9.1%	1.8%
	破綻懸念先④	336	92	9	72	3	27.4%	9.8%	3.3%
実質破綻先⑤	157	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先⑥	74	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計(②～⑥の計)	1,398	242	24	189	9	17.3%	9.9%	3.7%	
合計	9,293	284	24	221	9	3.1%	8.5%	3.2%	